

令和の春

草戸山～高尾山

実施日 2020年3月21日(土)  
 天候 晴れ  
 リーダー 伊藤 久雄  
 参加者 高尾山G:石附智江、遠井謙策、伊藤久雄、峯川弘子、宮崎敏男  
 高尾駅G:涌井良明、白石恵美子、山崎富美恵、小村井好江、渋谷京子、中村友子、徳山敬子、白石佐恵 計13名  
 費用 780円(京王線新宿起算)1,060円(☎+入園料)  
 タイム 橋本駅アリオ橋本前(9:00☎)カタクリの里(9:30~10:00)金毘羅宮(10:30)草戸山(11:25~50昼食)高尾山口(13:10)高尾山(14:30)日影沢林道(15:00)小下沢梅林(15:50)高尾駅(16:40)

前日の強風もやみ穏やかなハイキング日和になりました。

橋本から臨時の大型バスでカタクリの里に向かった。園内には50種以上の花々が咲き誇りカタクリの花が見ごろを迎え突然変異で咲く珍しいカタクリも見ることが出来た。



本日の行程を考え短めの見学となってしまうと不満を与えてしまったかもしれません。カタクリの里から北に少し歩き道路を横切り金毘羅宮へのハイキングコースとなっている歩きやすい尾根道を行く。小一時間程で着きお参りをしその上にある見晴展望台に登ると横浜や東京方面のビル群が右の方角にうっすらと総半島左には秩父の山塊か180度の

晴らしい展望が広がっている。金毘羅宮のきゆうな階段を下り左に緩やかに下っていると城山湖に出る。本沢ダムを横切ると爽やかな風が心地よい。湖面を覗くとカモや大きなコ



イが泳いでいる。きつい幾つかの木段を上ると漸く草戸山に着いた。此処で昼食とした後高尾山口へ下山開始する。



四辻の分岐で高尾山口と高尾組に分かれ清滝は影響が家族者たちで6号路は台風の

影響で所々荒れているがハナネコノメに癒されながら登り頂上から日影沢林道に下る。

此処も左斜面が崩落し林道を塞いでいたが注意して横切っていく。

タカオスマレ、ミヤマカタバミ、コチヤメルソウ、アズマイチゲ、キクザキイチゲを見ながら下っていく。此処の林道もかなり台風の影響で至る所で崩壊している。ハナネコノメの群生地が流されなくなっていた。小下沢梅林はまだ少し咲いていたが終わりでした。

改めて地球規模で起きている温暖化を考えさせられた一日でした。至らない所も有りましたが会員の皆さんの御協力有難うございました。

(記&写真・伊藤 久雄)

高尾駅下山グループ



13時前に四辻をスタート。何度小さなアップダウンを繰り返しながら眺めは良い尾根道を行く。意外と歩き応えのある道で、途中の小ピークで一息入れて(冷えたパイngoちそうさま)。

金比羅山からの急な下りが終わると高尾に降り立った。

大光寺の今が盛りの見事な桜を堪能してから、時間もあるので反省会で皆さんしゃべりまくりでコロナ？のうさを晴らすのでお開きです。



今日は春爛漫の山行でした。ヨカッタ！  
(記&写真・涌井良明)